



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



『勉強』から『学び』へ



6月に入りました。子どもたちは予定されていた学校行事などの活動が無事にこなし、落ち着いて学習に取り組んでいるところです。

さて、私たち教員もしばしば混同して使うことがありますが、「勉強」「学習」「学び」の違いはどのようなことなのでしょうか。どれも同じ意味だと思っていませんか。たしかに、この3つの言葉のニュアンスは似ています。しかし、それぞれに違いがあるのです。

「勉強する」には、「物事を習い覚えること」という意味もありますが、「努力して困難に立ち向かうこと・ツライことを我慢してやる」という意味もあります。子どもたちに向かって「勉強しなさい」と言うのは、半強制的な意味合いを含みますよね。

「学習する」はどうでしょうか。よく「学習が身に付く」などと使われますが、これは先生が教えたことを覚え、使えるようになるといった意味合いです。つまり、教わったことを身に付けることが学習と捉えられます。どちらかと言えば受動的な感じがします。

では、「学び」はどうでしょうか。「学ぶ」は、自ら問題意識をもち、興味・関心をもってその解決方法を探るといった意味合いです。これは能動的な行為と言えます。

今、学校教育では授業は「教える場」から「学ぶ場」へと質的な変換を図っています。皆さんも耳にしていることと思いますが、文部科学省では子どもたちに「生きる力」を身に付けさせることを学校教育の目標としています。今後さらに複雑・多様化する社会の中で、自らの道を切り拓いて行く力が必要です。自分で問題を見つけ、その解決のためにはどうすればよいのかを友達と協力し、話し合いながら取り組んでいく力が必要なのです。1人1台のパソコン配布などは、課題解決のツールとして、また学びを深めるためのツールとして配布されています。

私は「生きる力」を身に付けるためには、「学び」がもっとも重要であると考えます。当然のことながら、「誰かに言われたからやる」と「自分がやってみたいからやる」の「やる」では身に付き方が全く違ってきます。興味や関心をもっている事には集中します。没頭します。楽しめます。さらに追求しようとしみます。これが、友達と一緒になら尚更です。

子どもたちは無限の可能性を秘めています。学校は「勉強」の場ではなく、「学び」の場として知識を広げ、多様な経験を通し「生きる力」を伸ばすことが求められています。保護者の皆様と地域の皆様と一緒に、子どもたち一人一人の夢を支えていきたいと思ひます。

校長 高橋 明

田植え体験

5年生では、毎年、総合の時間に稲作についての学習を行っています。今年は、継続的な関わりをすることをねらい、5月12日に、JAかみはやしの遠山様を講師にお迎えし、学校のプール脇で、コンテナに田植えをしました。また、翌13日には、福田の桜井様にお世話をいただき、遠山様のご指導の下、学校田で田植えを体験しました。



避難訓練

5月12日に、今年度第1回目の避難訓練を行いました。今回は給食室から火災が発生したという想定です。緊急放送の後、子どもたちは、ハンカチを口に当てて、給食室から遠ざかる経路で、素早くグラウンドへ避難しました。校舎に戻った後、村上市消防本部神林分署の方々による煙体験を行いました。



6年 修学旅行

5月13・14日に、6年生が佐渡方面への修学旅行に出かけました。新潟港からフェリーで両津港に着き、1日目は、金山、奉行所、北沢選鉱場・相川技能伝承館を訪れました。2日目は西三川ゴールドパーク、矢島・経島たらい舟、トキの森公園で体験・見学を行い、ジェットfoilで新潟港へ帰りました。長く思い出に残る楽しく充実した修学旅行となりました。



体カテスト

新潟県教育委員会では、毎年、県内各校で体カテストを実施してきました。昨年度はコロナ対策のために行われませんでした。今年度は再開となりました。子どもたちは、2学年ずつ縦割り班のグループに分かれ、3名の希楽々スタッフの方々にご協力をいただきながら、長座体前屈・上体起こし・立ち幅跳び・反復横跳び・握力の測定に一生懸命取り組みました。



学習参観

4月に予定していた学習参観はコロナ対策のために中止としましたが、その後の状況を見て、5月21日に、フリー参観の形で実施しました。検査・検診の時間を除き、1・3・4・6限が参観の時間でした。午後には学校運営協議会、夜には、当初書面議決の予定だったPTA総会も、会議として開くことができました。ご協力をいただきありがとうございました。



5年 自然教室

5月31日・6月1日に、5年生の自然教室を胎内市の県少年自然の家で実施しました。1日目は、かまどで火を起こして焼き杉板の壁飾りを作り、松林の中でオリエンテーリングをし、夕方にはキャンプファイヤーを行いました。宿舎で1泊し、2日目はカヌー体験を行いました。美しい自然の中で、楽しく貴重な体験活動を行うことができました。



カボチャの苗植え

神林支所内の関係人口創出事業
実行委員会の取組の一つに、道の
駅神林「穂波の里」での「かかし
祭り・ハロウィン」があります。
市内の各校で、カボチャを育てて



祭りに展示する予定です。平林小学校では4年生が栽培します。6月4日に、実行委員会から、プッチーニ20本、アトランティックジャイアント3本の苗の提供をいただき、子どもたちがプール脇の畑に苗植えをしました。実がなるのが楽しみです。

鈴木南陽先生 県展奨励賞受賞おめでとうございます

書道家の鈴木南陽先生には、平林小学校統合時、体育館に掲示してある新しい教育目標を揮毫いただきました。その鈴木先生が、すでに報道されているように、第75回県展に、李白の詩文「秋夜獨座故山」100文字を記した作品を出品され、奨励賞を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。



身近な水環境の全国一斉調査

国交省の「身近な水環境の全国一斉調査」に基づき、6月6日に、塩谷活性化推進協議会の主催により、希望の児童・保護者が参加して、荒川での水質調査が行われました。場所は、牛屋・宿田付近の荒川流域です。水質検査の他、流速の測定、水生生物採集なども実施し、大変貴重な体験活動となりました。

行事予定



15日 (火) 児童集会	18日 (金) 全校スキルタイム
16日 (水) 家庭学習強調週間 (~22日) 内科検診 (2・4・6年)	22日 (火) 3年交通安全教室
17日 (木) 委員会活動	24日 (木) クラブ活動



1日 (木) 全校スキルタイム 委員会活動	15日 (木) 委員会活動
2日 (金) フリー参観 SSE集会 学年PTA行事…6年・2年	16日 (金) 地区子ども会 給食最終日
8日 (木) クラブ活動	21日 (水) 1学期終業式
9日 (金)・12日 (月) 期末大清掃	26日 (月) 夏季休業 (~8月25日)

